

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8454 横浜市中区住吉町4-42-1

横浜市青少年育成センター

TEL 045-662-4170 FAX 045-662-7645

ホームページ／<http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/>

2006年10月発行 No.31

各区災害ボランティアネットワークが続々と誕生!

「とつか災害救援活動ネットワーク（とつか災害ネット）」が今年5月に発足しましたが、その後も南区、磯子区、保土ヶ谷区、栄区でも新たなネットワーク組織が誕生しました。

「磯子区災害ボランティア連絡会」は8月30日に磯子区役所で設立総会が開催されました。磯子区役所の7階会議室には、町内会関係者や区民、ボランティアなど約100人が参加。会則の制定、役員を選任、平成18年度事業計画・収支予算などについて審議されました。総会後は、横浜災害ボランティアネットワーク会議の運営委員である、渡辺誠二氏（港北区災害ボランティア連絡会代表）より基調講演があり、「新潟県中越地震」でのボランティアセンター立上げや運営などについて話されました。

また「保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク」設立総会が9月27日に中央児童相談所の研修室で総会が開催され、続いて「横浜栄・防災ボランティアネットワーク」の設立総会が、10月27日に栄区役所で設立総会が開催されました。

各総会とも区民や町内会関係者など多くの参加者があり、災害時でのボランティア活動に対する関心の高さが伺われました。しかし、反面、「災害ボランティアセンターとはどのような機能や役割を持っているのか?」「地域防災拠点や町内会と災害ボランティアネットワークはどのような関係なのか?」といった質問があり、災害ボランティアネットワークのイメージや役割、機能といった点や位置づけがまだ十分に理解されていない課題が浮き彫りとなりました。区民や町内会関係の方々にご理解いただくには一定の時間が必要ではありますが、災害時には各地域防災拠点や各町内会との連携は、ボランティアによる



保土ヶ谷区災害ボランティアネットワークの設立総会

災害救援活動を進めていく上で重要なポイントでもあります。鶴見、港北、金沢でも実践されているように、ネットワーク組織単独の訓練ではなく、地域防災拠点や町内会組織と連携した訓練活動によって相互理解を図っていくことが今後は必要と思われます。

10月末の時点での区災害ボランティアネットワーク組織は別表1のようになります。これらの動きを踏まえ、横浜災害ボランティアネットワーク会議では、12月7日に「区ネッ

トワーク連絡会」を横浜市青少年育成センターで開催することになりました。「連絡会」では、各区のネットワークの運営状況や課題について情報交換や、運営面の助言なども行うことで、区ネットワーク組織への支援を図っていきます。また、すでに組織化された区ばかりではなく、未組織の区についても併せて参加を呼びかけていく予定です。

■別表 横浜市内災害ボランティアネットワーク組織 一覧

設立年月日	名 称	代表者	事務局	電話番号
1996.5.18.	横浜災害ボランティアネットワーク会議	吉村恭二	横浜市青少年育成協会	662-4170
1998.11.26.	港北区災害ボランティア連絡会	渡辺誠二	港北区総務課	540-2205
2002.4.17.	鶴見区災害ボランティアネットワーク	河西英彦	鶴見区社会福祉協議会	504-5619
2003.6.6.	金沢区災害ボランティアネットワーク	外山 薫	金沢区社会福祉協議会	788-6080
2005.9.30.	緑区防災ネットワーク	塚田順一	緑区総務課	930-2205
2006.5.16	南区災害救援ボランティアネットワー	—	南区役所／南区社会福祉協議会	260-2510
2006.5.31.	とつか災害救援活動ネットワーク	加藤吉昭	戸塚区社会福祉協議会	866-8434
2006.8.30.	磯子区災害ボランティア連絡会	大竹比呂志	磯子区社会福祉協議会	751-0739
2006.9.27.	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	鈴木方規	保土ヶ谷区社会福祉協議会	341-9876
2006.10.17	横浜栄・防災ボランティアネットワーク	山本邦夫	(問合せ) 栄区社会福祉協議会	894-8521

インフォメーション

鶴見区で「災害ボランティアシミュレーション訓練」を開催

鶴見区災害ボランティアネットワークで今年も9月3日(日) 平安町会館と市立平安小学校で「災害ボランティアシミュレーション訓練」が実施されました。

当日は、設立間もない「とつか災害救援活動ネットワーク」のメンバー10人が参加。訓練に参加するだけではなく、災害ボランティアセンターの運営や訓練についてメモをとるなど、熱心な姿勢が印象的でした。



訓練の1コマ 水害でのけが人の搬送

ガールスカウトの「子どもの目で見えた災害マップ」

2006年9月10日(日)、横浜に点在するガールスカウト横浜市連絡協議会のスカウト達が、自分達の活動している地域の災害時を想定して街歩きをし、災害マップを作りました。出来上がった地図を、県民活動サポートセンターに持って集まり、それぞれの地域の災害時における危険場所等を発表しました。日ごろ何気なく歩いている街の危険箇所を認識し、他の地域を知ることにより、災害時における、横浜の様々な街の様子を知ることが出来ました。

子ども達の視点は、たとえば、「自動販売機が倒れたらどう



スカウトが作った災害マップ

なるの?」「ビルの看板は大丈夫?」「もしビルのガラスが割れたら?」「商店街は火を使っているところが多く、火事になりやすいのでは?」「公園の水道は安全に飲める?」「マンションが壊れたら?」「がけ崩れがありそう?」「高速道路があるけれど?」「歩いて見つけたトイレのドアに非常連絡先が書いてあったこと」など大人顔負けのものばかりでした。同じ区内でも、昔からの町並み、新興住宅地では、危険の視点が違うことがあります。特に古い町並みは道が狭く、ブロック塀やコンクリートの塀が倒れて歩けなくなるのでは、橋が落ちたら道がなくなってしまうのでは、といったことにも子どもたちは気付いていました。

特に子ども達の目線では、狭い路では塀がとっても高くみえたり、自動販売機が巨大に見え、もし中身が崩れ出たらと恐怖感を感じるようでした。歩きながら地域防災拠点の確認、公衆電話での災害用伝言ダイヤルを知ったり、消防士さんからお話を聞いて地震の時の心がけなどを知りました。

避難途中のコンビニ、又はスーパーで300円で買える物の課題に、水・マッチ・ティッシュペーパー・マスク・カンパン 等に目が向いていました。



スカウト達の発表の様子

子ども達の災害に対する関心は深く、実際に歩いて見て、思っていたより、安全な場所が少ないことに驚いたり、各団3分の発表時間ではとっても話きれない様子でした。ガールスカウトでは今回の災害マップをまとめ、今後も地域を広げ、地図を塗りつぶしていきたいと思っています。今後も市内に点在するガールスカウト同士がネットワークを広げ、災害が起きたら情報を発信しあい、災害時助けあえればと子ども達を巻き込みながら、活動を続けていきます。

港北区で「災害ボランティアセミナー」を開催

—みんなでわいわい防災ウォーキング—

港北区災害ボランティア連絡会では、12月2日（土）10時～16時「災害ボランティアセミナー」を開催します。災害発生をイメージしながら自分たちの街を防災という視点から見直すため、防災ウォーキングを行います。ウォーキングのあとは街歩きで得た情報をマップに落とししていきます。

日 時：12月2日（土）10時～16時

会 場：港北区福祉保健活動拠点多目的研修室（港北区社会福祉協議会3階）

参加費：500円（保険代、資料代、昼食代）

申込先：港北区役所総務課庶務係 電話540-2206 FAX540-2209

災害ボランティアコーディネーター養成講座実技編

（ボランティアセンター開設シミュレーション）開催について

8月に行った「災害ボランティアコーディネーター」養成講座受講者を対象に、緑区防災ネットワークでは、シミュレーション事業を12月に実施します。

日 時：平成18年12月10日（日）午前9時00分～午後13時00分

会 場：緑区役所第1・2会議室

内 容：ボランティアセンターの立ち上げ及び運営訓練（発災後3日目を想定）/ボランティアコーディネーターの役割理解と実践を含めた養成訓練

講 師：港北区災害ボランティア連絡会 会長 渡辺 誠二氏

金沢区で「災害ボランティア・コーディネーター養成講座」(中級編)

金沢区災害ボランティアネットワークでは、12月に「災害ボランティアコーディネーター養成講座(中級)」を行います。参加ご希望の方は下記までお問い合わせください。

日 時：12月9日（土）10：10～15：30

会 場：いきいきセンター金沢 2階ボランティアコーナー

内 容：災害ボランティアセンター立上げ・派遣シミュレーション

講 師：渡辺誠二氏（港北区災害ボランティア連絡会代表）

参加費：500円

申込先：事務局（金沢区社会福祉協議会） 045-788-6080（担当 工藤）

■ 会費納入のお願い！

横浜災害ボランティアネットワーク会議の様々な活動は、会員の皆様の会費で賄われています。会員として年会費の納入にご協力ください。

以下は2006年度会費納入済み団体・個人（11月21日現在）です。 ※順不同・敬称略

レクダンス研究会「赤いくつ」/港北区社会福祉協議会/横浜市健民少年団/瀬谷区社会福祉協議会/高橋 真理子/鶴見区災害ボランティアネットワーク

納入いただきました方々、ありがとうございました。

【お詫び】

先号の会費納入済み団体・個人に、レクダンス研究会「赤いくつ」のお名前を掲載すべきところ、掲載せずに編集・発行してしまいました。お詫びして訂正いたします。



運営団体

学校法人岩崎学園

金沢区災害ボランティアネットワーク

港北区災害ボランティア連絡会

財団法人横浜市国際交流協会

社団法人横浜市身体障害者団体連合会

財団法人横浜市青少年育成協会（事務局）

神奈川県生活協同組合連合会

ガールスカウト横浜市連絡協議会

鶴見区災害ボランティアネットワーク

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

財団法人横浜YMCA